

令和元年度

第2回 中津川市国民健康保険運営協議会

日 時 令和2年2月13日(木) 午後3時から
場 所 健康福社会館3-1 研修室

1. 開会

2. 委嘱書の交付

3. 会長あいさつ

4. 市長あいさつ

5. 議題

(1) 条例改正について

- ・中津川市国民健康保険条例の一部改正について

(2) 令和2年度国民健康保険事業会計等予算案について

- ・国民健康保険事業勘定
- ・直営診療施設勘定

6. その他

- ・保健事業について (資料1)

7. 閉会

1) 中津川市国民健康保険条例の一部改正について

概 要	<p>■改正の背景と理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険法施行令が一部改正され、応益分の軽減判定基準及び基礎賦課額、介護納付金課税額について変更されたため、改正する。 <p>■改正の内容</p> <p>①保険料賦課限度額（基礎賦課額）を引き上げる。（引き上げは3年連続）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">基礎賦課分</th> <th style="width: 25%;">後期高齢者分</th> <th style="width: 25%;">介護納付金分</th> <th style="width: 10%;">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現 行</td> <td>610,000 円</td> <td>190,000 円</td> <td>160,000 円</td> <td>960,000 円</td> </tr> <tr> <td>改正後</td> <td>630,000 円</td> <td>190,000 円</td> <td>170,000 円</td> <td>990,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>②軽減判定所得で世帯判定人数に乗じる額を引き上げる。（引上げは7年連続）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%;">2割軽減基準額</th> <th style="width: 45%;">5割軽減基準額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現 行</td> <td>33万円+51万円×被保険者数</td> <td>33万円+28万円×被保険者数</td> </tr> <tr> <td>改正後</td> <td>33万円+52万円×被保険者数</td> <td>33万円+28.5万円×被保険者数</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <p>■市民への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ①賦課限度額の引き上げにより、高所得層に保険料の負担を求めることで、中低所得層の負担を軽減することができる。 ②軽減判定所得を拡大することで、低所得者の負担を抑えることができる。 <p>■施行期日</p> <p>令和2年4月1日</p>		基礎賦課分	後期高齢者分	介護納付金分	合 計	現 行	610,000 円	190,000 円	160,000 円	960,000 円	改正後	630,000 円	190,000 円	170,000 円	990,000 円		2割軽減基準額	5割軽減基準額	現 行	33万円+51万円×被保険者数	33万円+28万円×被保険者数	改正後	33万円+52万円×被保険者数	33万円+28.5万円×被保険者数
	基礎賦課分	後期高齢者分	介護納付金分	合 計																					
現 行	610,000 円	190,000 円	160,000 円	960,000 円																					
改正後	630,000 円	190,000 円	170,000 円	990,000 円																					
	2割軽減基準額	5割軽減基準額																							
現 行	33万円+51万円×被保険者数	33万円+28万円×被保険者数																							
改正後	33万円+52万円×被保険者数	33万円+28.5万円×被保険者数																							

条例改正による影響(試算)

I. 軽減判定所得について

1) 世帯における所得判定基準額

区分		1人世帯	2人世帯	3人世帯
2割軽減	現行	840,000 円	1,350,000 円	1,860,000 円
	改正後	850,000 円	1,370,000 円	1,890,000 円
5割軽減	現行	610,000 円	890,000 円	1,170,000 円
	改正後	615,000 円	900,000 円	1,185,000 円

2) 軽減世帯数及び軽減額

区分	現行	改正後	増減	軽減増加額
2割軽減	1,260 世帯	1,279 世帯	19 世帯	372 千円
5割軽減	1,567 世帯	1,589 世帯	22 世帯	1,009 千円

※軽減額の増により保険料は減少

II 保険料賦課限度額について

賦課限度額世帯数と限度額世帯の割合

基礎賦課額		賦課限度額	限度超過世帯	限度超率	国保世帯数
医療分	現行	610,000 円	124 世帯	1.29%	9,628 世帯
	改正後	630,000 円	120 世帯	1.25%	
	増減	20,000 円	△4 世帯	△0.04%	
介護分	現行	160,000 円	54 世帯	0.56%	
	改正後	170,000 円	51 世帯	0.53%	
	増減	10,000 円	△3 世帯	△0.03%	

※限度額引き上げにより保険料は増加(影響額 2,923 千円)

令和2年度当初予算(案) 概要

【歳入】

(千円)

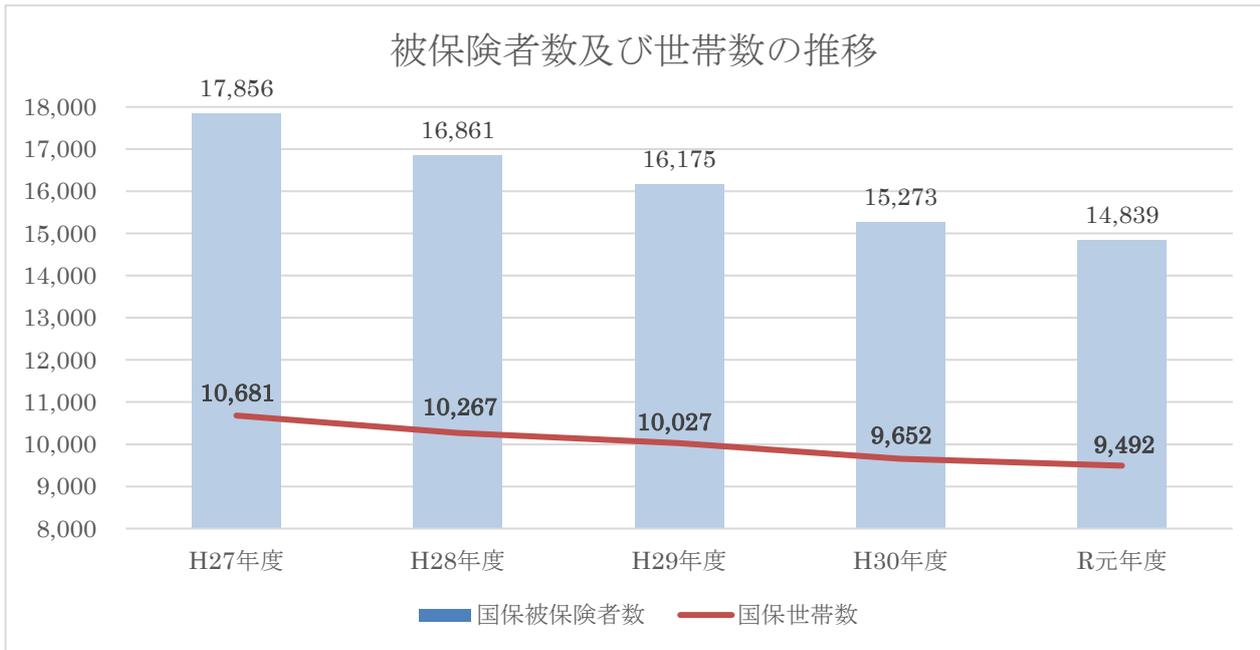
科目	令和2年度	令和元年度	比較	説明
保険料	1,382,678	1,632,928	△ 250,250	
手数料	800	800	0	
国庫支出金	2,328	1	2,327	事業費補助金等
療養給付費 交付金	1	1	0	
県支出金	5,315,419	5,218,265	97,154	保険給付費・保健事業に要する費用、努力支援交付金、直営診療施設交付金等
財産収入	434	441	△ 7	基金利子収入
繰入金	568,126	551,104	17,022	総務管理費等一般会計繰入金 保険料軽減分、財政安定化に係る繰入等
繰越金	5,527	8,791	△ 3,264	
諸収入	8,431	9,104	△ 673	第三者納付金、返納金等
合計	7,283,744	7,421,435	△ 137,691	

【歳出】

(千円)

科目	令和2年度	令和元年度	比較	説明
総務費	162,686	164,172	△ 1,486	人件費、賦課徴収費、運営協議会費等
保険給付費	5,263,300	5,165,920	97,380	療養の給付、高額療養費、出産育児一時金、葬祭費、審査支払手数料等
事業納付金	1,711,891	1,972,335	△ 260,444	医療給付費、後期高齢者支援金、介護納付金に係る納付金
保健事業費	110,405	87,029	23,376	特定健診等保健事業に係る費用等
基金積立金	434	441	△ 7	
諸支出等	30,028	26,538	3,490	直営診療施設交付金繰出金等
予備費	5,000	5,000	0	
合計	7,283,744	7,421,435	△ 137,691	

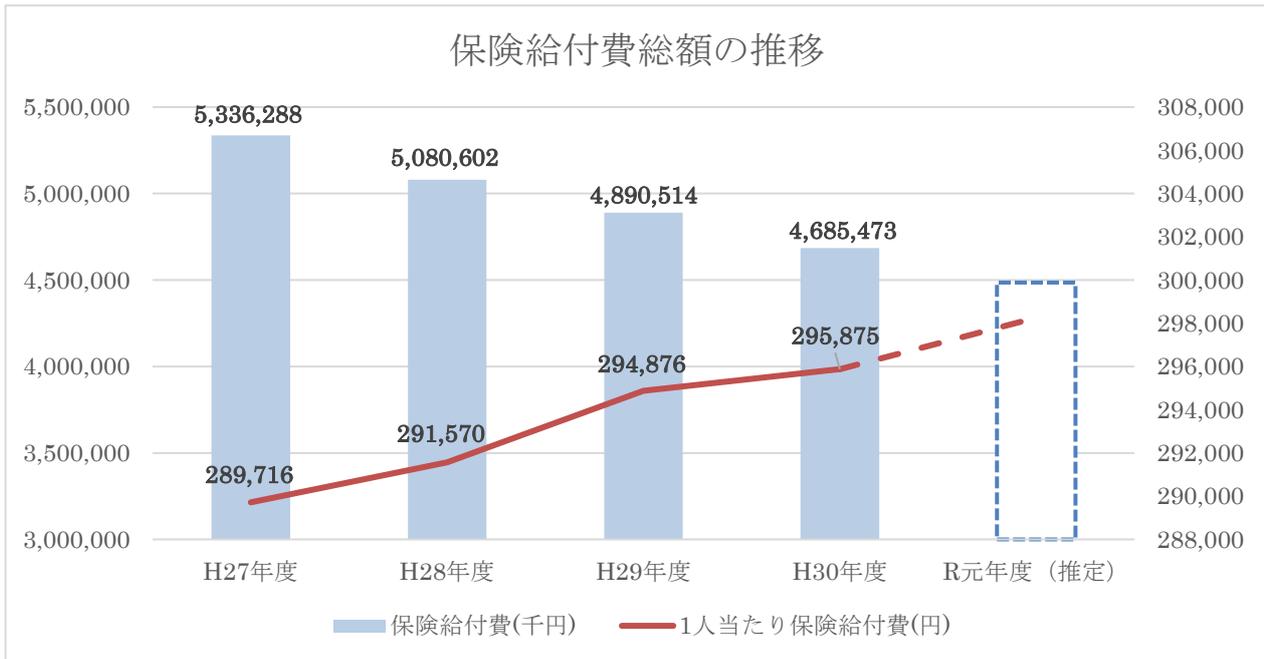
(1) 被保険者数及び世帯数の推移



(※R元年度の数値は令和元年12月末現在)

(2) 保険給付費総額の推移

(1人当たり保険給付費=保険給付費÷年間平均被保険者数)



(3) 保険料率の推移

<全体分>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一世帯当保険料	178,704円	178,625円	176,429円	152,267円	156,973円
一人当保険料	105,176円	106,992円	107,565円	94,561円	99,135円

令和2年度当初予算（案）の概要（直営診療所分）

診療所名：中津川市国民健康保険川上診療所

診療日：週1.5日（月曜日（月2回隔週）、金曜日）

【歳入】

区分	当初予算（千円）			説明
	H31年度	R2年度	比較（%）	
1) 診療収入	18,727	15,684	83.8%	
①外来収入	16,608	13,572	81.7%	
②その他診療収入	2,119	2,112	99.7%	予防接種・特定健診委託料等
2) 使用料手数料	60	47	78.3%	
3) 県支出金	0	805	0.0%	
4) 繰入金	35,089	21,227	60.5%	
①一般会計繰入金	28,389	14,527	51.2%	
②事業勘定繰入金	6,700	6,700	100.0%	国保診療所運営費補助金
4) 繰越金	2,914	3,434	117.8%	
5) 諸収入	39	27	69.2%	
歳入計	56,829	41,224	72.5%	

【歳出】

区分	当初予算（千円）			説明
	H31年度	R2年度	比較（%）	
1) 総務費	44,729	32,983	73.7%	
①総務管理費	44,375	32,642	73.6%	人件費、施設運営費等
②研究研修費	354	341	96.3%	学会旅費、参加負担金等
2) 医業費	10,869	7,010	64.5%	
①機械器具費	622	625	100.5%	医療機器保守委託等
②消耗機材費	316	203	64.2%	
③医薬品衛生材料費	9,931	6,182	62.2%	
3) 公債費	1,231	1,231	100.0%	財政融資資金（医師住宅建設）
4) 諸支出金	0	0	0.0%	
5) 予備費	0	0	0.0%	
歳出計	56,829	41,224	72.5%	

令和2年度当初予算（案）の概要（直営診療所分）

診療所名：中津川市国民健康保険加子母歯科診療所

診療日：週5日（月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、土曜日）

【歳入】

区分	当初予算（千円）			説明
	H31年度	R2年度	比較（%）	
1) 診療収入	50,394	47,931	95.1%	
①外来収入	49,983	47,269	94.6%	
②その他診療収入	411	662	161.1%	
2) 使用料手数料	2	2	100.0%	
3) 県支出金	0	0	0.0%	
4) 繰入金	2,458	6,770	275.4%	
①一般会計繰入金	1,088	1,870	171.9%	
②事業勘定繰入金	1,370	4,900	357.7%	国保診療所運営費補助金
4) 繰越金	4,105	931	22.7%	
5) 諸収入	471	581	123.4%	
歳入計	57,430	56,215	97.9%	

【歳出】

区分	当初予算（千円）			説明
	H31年度	R2年度	比較（%）	
1) 総務費	39,474	39,648	100.4%	
①総務管理費	39,322	39,449	100.3%	人件費、施設運営費等
②研究研修費	152	199	130.9%	学会旅費、参加負担金等
2) 医業費	17,956	16,567	92.3%	
①機械器具費	1,591	813	51.1%	医療機器保守委託等
②消耗機材費	2,726	2,741	100.6%	
③医薬品衛生材料費	13,639	13,013	95.4%	
3) 公債費	0	0	0.0%	
4) 諸支出金	0	0	0.0%	
5) 予備費	0	0	0.0%	
歳出計	57,430	56,215	97.9%	

令和2年度当初予算（案）の概要（直営診療所分）

診療所名：中津川市国民健康保険蛭川診療所

診療日：週5日（月曜日、火曜日、水曜日、木曜日（午前）、金曜日）

【歳入】

区分	当初予算（千円）				比較（%）	説明
	H31年度		R2年度			
	医科	歯科	医科	歯科		
1) 診療収入	40,688	42,251	41,512	44,010	103.1%	
①外来収入	35,884	41,621	35,625	43,279	101.8%	
②その他診療収入	4,804	630	5,887	731	121.8%	予防接種・特定健診委託料等
2) 使用料手数料	231	12	311	12	132.9%	
3) 県支出金	0		0		0.0%	
4) 繰入金	18,905		29,932		158.3%	
①一般会計繰入金	5,737		16,804		292.9%	
②事業勘定繰入金	13,168		13,128		99.7%	国保診療所運営費補助金
5) 繰越金	29,637		21,331		72.0%	
6) 諸収入	611	861	611	901	102.7%	
歳入計	133,196		138,620		104.1%	

【歳出】

区分	当初予算（千円）				比較（%）	説明
	H31年度		R2年度			
	医科	歯科	医科	歯科		
1) 総務費	67,127	35,736	75,411	36,895	109.2%	
①総務管理費	66,885	35,556	75,095	36,657	109.1%	人件費、施設運営費等
②研究研修費	242	180	316	238	131.3%	学会旅費、参加負担金等
2) 医業費	11,404	11,560	9,605	9,340	82.5%	
①機械器具費	4,055	1,873	3,530	1,257	80.8%	医療機器保守委託、デジタル口腔撮影装置（歯科）及び舌圧測定器（歯科）購入費等
②消耗機材費	804	2,404	696	2,018	84.6%	
③医薬品衛生材料費	6,545	7,283	5,379	6,065	82.8%	
3) 公債費	7,369		7,369		100.0%	病院事業債（診療所改修）
4) 諸支出金	0	0	0	0	0.0%	
5) 予備費	0	0	0	0	0.0%	
歳出計	133,196		138,620		104.1%	

令和2年度当初予算（案）の概要（直営診療所分）

診療所名：中津川市国民健康保険阿木診療所

診療日：週2日（火曜日、木曜日）

【歳入】

区分	当初予算（千円）			説明
	H31年度	R2年度	比較（%）	
1) 診療収入	24,777	21,995	88.8%	
①外来収入	21,461	18,844	87.8%	
②その他診療収入	3,316	3,151	95.0%	予防接種・特定健診委託料等
2) 使用料手数料	46	21	45.7%	
3) 県支出金	2,700	0	0.0%	
4) 繰入金	25,315	10,006	39.5%	
①一般会計繰入金	25,315	10,006	39.5%	
②事業勘定繰入金	0	0	0.0%	
③その他	0	0	0.0%	
4) 繰越金	3,822	4,081	106.8%	
5) 諸収入	11	11	100.0%	
6) 市債	28,300		0.0%	
歳入計	84,971	36,114	42.5%	

【歳出】

区分	当初予算（千円）			説明
	H31年度	R2年度	比較（%）	
1) 総務費	54,886	22,300	40.6%	
①総務管理費	54,850	22,265	40.6%	人件費、施設運営費等
②研究研修費	36	35	97.2%	学会旅費、参加負担金等
2) 医業費	29,305	11,682	39.9%	
①機械器具費	12,709	1,440	11.3%	医療機器保守委託等
②消耗機材費	290	202	69.7%	
③医薬品衛生材料費	16,306	10,040	61.6%	
3) 公債費	780	2,132	0.0%	病院事業債（阿木交流センター）
4) 諸支出金	0	0	0.0%	
5) 予備費	0	0	0.0%	
歳出計	84,971	36,114	42.5%	

平成31年度の事業報告（保健事業）

1、平成30年度の特特定健診受診率 (%)

	中津川市	恵那市	多治見市	下呂市	岐阜県
度被保険者数	11,596人	8,154人	17,138人	5,465人	316,612人
21市の順位	12位	8位	7位	4位	—
H30年度	37.5	43.9	44.1	52.1	39.6
H29年度	37.6	45.4	43.2	53.3	38.4
H28年度	38.4	42.2	42.1	57.8	37.6
H27年度	37.6	41.6	42.7	48.5	36.9

法定報告より

2、平成31年度特特定健診受診率向上対策

- (1) 情報提供事業の実施（11月～2月）
- (2) 健診費用の値下（880円→500円）
- (3) 受診期間の延長（6月～9月→6月～10月）

今年の新たな取組①～③の効果を見てみました。



(1) 情報提供事業の実績 (人)

受診者数		11月	12月	1月	2月	合計
H31年度	月計	189	86			
	累計	189	275			

11月12月の情報提供事業受診者数275人 + α（1月2月受診者）で3%以上の受診率向上を見込んでいます。

2の受診率を参考に3%加算してみると**初の40%**超えが予想されます。（特特定健診受診率の確定は令和2年10月）

(2) 過去5年間でみた新規受診者の状況 (人)

	受診者数	新規受診者数	新規割合
H31年度	4,402	657	14.9%
H30年度	4,346	575	13.2%

R2年1月現在

(3) 健診実施期間の延長と受診者数 (人)

受診者数		6月	7月	8月	9月	10月	合計	受診券 発送者数
H31年度	月計	957	984	685	860	914	4,400	12,411
	年計	1,016	877	857	1,378	—	4,128	12,996
H29年度	月計	1,099	886	892	1,519	—	4,396	13,385
	年計	—	—	—	—	—	—	—

H29・30年度健診期間6月～9月

今年度は8月の受診がやや少ないものの、平均化されていました。

3、保険者努力支援制度の状況

(1) 評価指標の一部

H31年度評価指標 (H30年度実施状況)		満点	中津川市	岐阜県	国	
		920点	573点	570点	549点	
共通	特特定健診受診率（H28実績）	50	0			
	特特定健指導実施率（H28実績）	50	50	47.4	43.0	
	メタボ該当者・予備群の減少率	50	25			
	③ 糖尿病等重症化予防の取組	100	100	98.2	85.0	
	②	がん検診受診率（H28実績）	30	0	29.8	27.6
		歯周疾患（病）検診実施状況	25	25		
	④	個人への分かりやすい情報提供	20	20	82.0	66.4
		個人のインセンティブ提供	70	70		
	⑤	重複服薬者に対する取組	50	50	45.2	39.9
	⑥	後発医薬品の促進の取組	35	35	61.6	60.6
後発医薬費の使用割合（H29実績）		100	0			
固有	② データヘルス計画の取組	50	50	48.4	44.8	
	④ 地域包括ケアの推進	25	25	18.2	13.2	

(2) 実績

	H31年度 (H30年度採点分)	H30年度 (H29年度採点分)
交付内定額	29,851千円	26,702千円
獲得合計点 (体制構築加点含)	573点/920点	460点/850点
1人当たり交付額	1,849円	1,586円
1点当りの金額	52,096円	58,048円
全国順位	737/1,741位	875/1,741位
都道府県内順位	23/42位	16/42位

● 特特定健診受診率については、情報提供事業の開始により受診率向上が見込まれるため来年度も継続します。

● 国は後発医薬品の利用**80%以上**を目標としています。
 ・ **80%以上の利用：55点**
 ・ **前年比で5%以上の向上：45点**

H29年度 68.0%

H30年度 74.1%（各年4月診療（調剤）分）

4、糖尿病性腎症重症化予防の取組

(1) 糖尿病性腎症重症化プログラムの取組

① 医療機関→健康医療課への紹介

新規に紹介いただいた5名（国保）に栄養指導を行いました。

② 健康医療課→医療機関へ受診勧奨

特特定健診結果でHbA1c6.5以上、尚且つ糖尿病治療なしと回答した**158人**に医療機関受診をすすめ**126人**（79.7%）が受診されました。

(2) 岐阜県医師会、恵那医師会の糖尿病重症化予防の取組

- ・ 「各地区の糖尿病性腎症重症化予防プログラム連携会議」2月
- ・ 「プログラム推進に向けた自治体－医師会連携を考える」2月
- ・ 「中津川・恵那地域糖尿病性腎症重症化予防プログラム連携会議」3回/年
- ・ 上記は岐阜県医師会及び岐阜県糖尿病対策推進協議会、保健所から案内があり参加させていただきました。
- ・ 糖尿病専門医をはじめ、多職種で糖尿病重症化予防について検討しています。
- ・ 今後も、糖尿病連携手帳を通じて重症化予防を継続していきます。